

エクスポートのパラメータとその指定方法

欠点：実行スピードが遅い

注意：サーバーで、直接実行すること

■ データ・エクスポート・ユーティリティでのパラメータ指定

(1) コマンドラインでの直接指定方法

```
exp system/password FULL=y FILE=full.dmp CONSISTENT=y
    DIRECT=y GRANTS=y
```

(2) パラメータ用ファイルの使用

```
exp system/password PARFILE=full.exp
                        ↓ full.exp テキストファイル
FULL=y
FILE=full.dmp
CONSISTENT=y
DIRECT=y
GRANTS=y
OWNER=SCOTT
```

■ パラメータの種類

パラメータ	説明	デフォルト値
BUFFER	行フェッチに使用されるバッファサイズ (バイト単位)	OS によって異なる
COMPRESS	設定することで、インポート時に初期エクステンツに整理統合	y
CONSISTENT	一貫性の保持を行うために、SET TRANSACTION READ ONLY を使用するか	n
CONSTRAINTS	制約のエクスポート	y
DIRECT	ダイレクト・パス・エクスポートの使用	n
FILE	出力先ダンプファイルの名前指定	expdat.dmp
FILESIZE	1 ダンプファイルの最大サイズ	OS によって異なる
FULL	全データベース・モードのエクスポート	n
GRANTS	オブジェクト権限をエクスポート	y
INDEXES	索引のエクスポート	y

LOG	ログへの出力	なし
OWNER	エクスポート対象のスキーマ (ユーザー) 指定	なし
PARFILE	エクスポート用パラメータ・ファイルの名前	なし
ROWS	表のレコードのエクスポート	y
TABLES	エクスポート時の表名、パーティション名をリスト表記で指示	なし
TABLESPACES	エクスポートする表領域名	なし
TRANSPORT_TABLESPACE	表領域のメタデータをエクスポートする	n
TRIGGER	トリガーのエクスポート	y
USERID	エクスポートするユーザー名/パスワード	なし